

牛の暑熱対策について！



夏期に受けた暑熱ダメージは秋まで続き、泌乳量や増体量の低下、繁殖成績肢蹄等に影響を及ぼします。快適な牛舎環境を整え、夏を乗り切りましょう！

暑熱予防

- 窓や戸を開放し、扇風機等による送風、牛舎周辺の整頓、草刈りなどで牛舎の風通しをよくしましょう
- 扇風機と噴霧装置があればより効率良く牛舎内の熱を奪えます。風力と湿度との兼ね合いを見ながら上手く利用しましょう
※風力が足りず湿度が上がりすぎる状態や湿度の高い日は逆効果となります
- 朝顔やゴーヤのグリーンカーテン、スタレや寒冷紗を張る、屋根を白く塗るなど輻射熱を減らす工夫をしましょう
- 新鮮で冷たい水が常に十分飲めるようにしましょう
- 良質粗飼料やビタミン、ミネラルを与え健康維持に努めましょう
- 飼料は涼しい時間帯に、また給与回数を増やし採食量低下に対処しましょう

熱射病かなと思ったら・・・

気温の高い日に高体温で、口を開けて呼吸が荒く、反芻が止まり、運動障害、流涎が見られたら熱射病かもしれません。⇒獣医師に連絡し、下記の応急処置を行ってください。

- ① **牛舎の外の風通しの良い日陰で後頭部に 20 分流水をかける。その後、首から体全体に流水を 10 分かける。**
- ② **十分な給水を行う。鉋塩も給与しましょう！**

健康観察を十分に行い、異常の早期発見・早期治療に努めましょう。

京都府丹後家畜保健衛生所

TEL0772-43-1125 FAX0772-43-1124